



アドビ システムズ 株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ、クラウドベースの電子署名の オープンスタンダード化を推進

モバイルと Web 向けのオープンな電子署名の推進を 目指した新たなコンソーシアムを発足

※当資料は、2016 年 6 月 28 日に弊社米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

【2016 年 6 月 28 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発：電子認証やトラストサービスに関する欧州連合（EU）の規則（eIDAS 規則）が 2016 年 7 月 1 日から施行し、世界各国で安全な電子署名の普及が進む見通しです。今回の施行を契機に、Adobe（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は、「クラウド署名コンソーシアム（Cloud Signature Consortium）」を発足することを発表しました。代表的な業界団体と学術機関で構成するこのコンソーシアムは、誰もが場所を問わず電子署名が利用できるよう、モバイルと Web におけるクラウドベースの電子署名のオープンスタンダード化を推進します。

電子署名は最も高度で安全にデジタルな署名を付与する方法であり、世界中の企業や政府機関が利用しています。しかし、標準規格の電子署名を利用するには、デスクトップ PC と個人を紐付ける、複雑かつ時間を要するプロセスを経なければなりません。自身の ID と署名とが一致することを証明するために、PC とそれ以外のデバイスを使用する必要があります。また多くの場合、USB トークンやスマートカードのような物理的デバイスに保管された証明書ベースの ID が不可欠です。このような状況の中、場所を問わず、あらゆるデバイスでの作業を実現する、シンプルでより良い体験を求める消費者および企業からのニーズが拡大しています。

現在いくつかのクラウドベースの電子署名ソリューションが提供されていますが、いずれも独自仕様であるため、ユーザーは認証プロバイダを自由に選択できず、プロセスが分断されてしまうのが現状です。アドビはこの分野のリーダーとして、新たにコンソーシアムを立ち上げます。業界のリーダーと協力して世界で 70 億を超えるモバイルデバイスで、最も高度な署名方法である電子署名を利用できるよう、オープンスタンダード化を推進します。

アドビのエグゼクティブバイスプレジデント兼デジタルメディア事業部門担当ゼネラルマネージャーであるブライアン ラムキン (Bryan Lamkin) は、次のように述べています。「アドビは、長年にわたり、PDFをはじめとする業界標準を開発、推進してきました。Adobe Sign と Adobe Document Cloud で処理される、電子署名および認証を必要としない電子サインの数は年間 60 億件を超え、アドビはサインの普及に力を入れております。本日より、クラウド署名コンソーシアムと協力し、クラウドベースの電子署名のオープンスタンダード化を推進します。」

オープンスタンダードが必要とされる理由

クラウド署名コンソーシアムにより策定される新基準は、企業がグローバルでデジタル変革を推進する際に不可欠なものです。これにより、誰もがクラウドアプリケーションやモバイルデバイスで安全な電子署名ソリューションを利用できることを目指します。施行後、この基準は、署名者の ID が重要となる、結婚許可書、事業認可書、社会保障給付金の申請や融資を受ける際のプロセスに活用できます。このコンソーシアムは、まずは EU に重点を置いて活動しますが、世界的な業界ネットワークを構築し、2016 年末までに新たな標準仕様を発表することにより、初のクラウドベースの電子署名の普及を目指します。EU の eIDAS 規則は高度な要件の順守を課しており、その対応のためにコンソーシアムが設立されましたが、セキュアなデジタルソリューションに対する需要が高まり続けていることから、この取り組みはグローバルに広がっていくものと期待されます。

IDC のコンテンツおよびデジタルメディアテクノロジー担当バイスプレジデントであるメリッサ ウェブスター (Melissa Webster) 氏は、次のように述べています。「アドビは、これまで数々のオープンスタンダードを確立し、採用を推進してきました。クラウドベースの電子署名のオープンスタンダード化は企業における時間やリソース削減に加えて、ベストプラクティスの共有によって業界の成長に役立つものです。」

クラウド署名コンソーシアムには、EU のクラウドベースの電子署名プロバイダ、トラストサービスプロバイダ、学術機関、標準化団体、セキュリティ関連団体が参加しています。設立メンバーは以下の通りです。

- Asseco Data Systems – ポーランド
- Bundesdruckerei / D-Trust – ドイツ
- Cryptolog / Universign – フランス
- Docapost / Certinomis – フランス
- InfoCert – イタリア
- Intarsys Consulting – ドイツ

- Intesi Group – イタリア
- Izenpe – スペイン
- SafeLayer – スペイン
- SwissSign – スイス
- Graz University of Technology – オーストリア
- Unibridge – ノルウェー

Adobe Document Cloud について

Adobe Document Cloud は、最高品質の PDF ソリューションである Acrobat DC、あらゆるデバイスから書類への電子サインを実現する Adobe Sign、およびモバイルアプリを中心に構成されています。迅速、安全でモバイルからの電子サインも可能な Document Cloud と Adobe Sign は、AmerisourceBergen、Diners Club、JLL、The Royal Bank of Scotland、Verizon などのグローバル企業で採用されています。現在 Document Cloud 上では年間 60 億件以上の電子署名および電子サインが処理されています。Adobe Sign、Acrobat DC、Acrobat Reader により eIDAS 規則に準拠した電子サインが利用可能です。アドビは、EU トラストリスト（EUTL）に含まれる認証局から認定を受けた電子署名に対応した、最初の大手ソフトウェアベンダーです。

参照リンク

- [クラウド署名コンソーシアムについて](#)
- [eIDAS 規則について](#)
- [Adobe Sign と Adobe Document Cloud について](#)
- クラウド署名コンソーシアムに関する[ブログ](#)
- [Facebook](#)

アドビについて

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat and Adobe Document Cloud are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

©2016 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.